

鉄道の混雑緩和に向けた「冬のオフピーク通勤」を実施します

JR南武線をはじめ、首都圏鉄道の朝の通勤時間帯の混雑率は、国が目標としている180%を超える路線があります。そのため、本市では平成29年度に、働き方・仕事の進め方改革と連携し、JR南武線を利用する市職員を対象にオフピーク通勤の実験的取組を行い、混雑緩和に一定の効果がみられました。

昨年度の取組を踏まえた平成30年度夏の取組では、南武線以外の路線にも対象を拡大し、多くの方に参加をいただき、取組の趣旨や意義の理解が広まりました。また、市域内における混雑緩和に加え、東京都が進めている「時差Biz」にあわせ、九都県市で連携し、首都圏の混雑率低減を図りました。引き続き一層の機運向上、取組の定着化を図るため、「冬のオフピーク通勤」を実施します。

本取組は、本市の働き方・仕事の進め方改革の一環として、ワーク・ライフ・バランスの一層の向上に寄与する取組の一つとして推進します。

1 実施期間

平成31年1月21日（月）～2月1日（金） ※「時差Biz」期間にあわせ実施

2 対象者

常時勤務する職員のうち通勤に鉄道を利用する職員

※交替勤務及び変則勤務の職員は原則対象外

3 冬の取組

- ・働き方・仕事の進め方改革における時差勤務の試行のなかで、オフピーク通勤を働きかけます。
- ・「時差Biz」期間にあわせることで、より効果的なオフピーク通勤を実施します。
- ・首都圏の鉄道混雑緩和に向けて、九都県市で連携し、広く普及啓発を図ります。
- ・民間企業に対して、より多くの参加の働きかけを進めます。
- ・夏の取組結果を踏まえ、遅い時間帯の取得割合向上を図ります。

【参考】

川崎市におけるオフピーク通勤の取組ホームページ

<http://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/26-12-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

時差Biz：通勤ラッシュ回避のために通勤時間をずらす働き方改革のひとつ

東京都ホームページ <https://jisa-biz.tokyo/>

時差勤務のパターン（定時 8:30～17:15）

① 7:30～16:15 ② 8:00～16:45 ③ 9:00～17:45 ④ 9:30～18:15 ⑤ 10:00～18:45

※1週間につき3回まで割り振り可能

※1日の勤務時間（7時間45分）は変更せず、始業時間及び終業時間を繰上げ又は繰下げること（時差勤務）で、通常の勤務時間と異なる時間帯で勤務する。

川崎市まちづくり局交通政策室 担当久木田【オフピーク通勤の取組全般について】

電話 044-200-2760

川崎市総務企画局労務課 担当峰岸【時差勤務の運用について】

電話 044-200-2145